



# かみのやまともり

## 加美の山を破壊する再エネ事業が完全撤退するまで!!

葉菜の闇夜に青白色のフラッシュ光。朝日や夕日を受ける白い風車を見てあなたはどのように感じますか。

残念ながら風力発電計画はまだ続いており、事業者は虎視眈々と進めています。

加美町の未来を守る活動を始めて、早3年。

他人事と思っていた風力発電計画が、我が加美の地を蝕んでいます。勉強会から始めた活動も、陳情書、署名、要望書等、町、議会、県、国へと幾度となくあらゆるところに訴えてきました。

昨年五月開催の「東北の山の未来を考える」シンポジウム。今年七月の「再エネによる自然破壊から国土を守る」全国大会。夢中で走ってきた。ただひたすら、一緒に走ってくれる仲間がいたからこそ、ここまで来れたのだと思います。言葉ではうまく伝えられなくても、気持ちと行動が賛同してくれる人々に広がり、一歩一歩歩み始め、その流れを変えてくれました。

鮮やかなニッ石ダムの紅葉は私に語り掛けてくれ、渡り鳥を見ると「ああ、鳥たちも無言のメッセージを私たちに寄せてくれているのだなあ」と感じます。自然の織り成す四季折々の顔が都会の雑踏を忘れさせ、自分に返ることができます。あの木々の一本、

本が、葉っぱの一枚一枚が私たちに応援してくれている。そんな気持ちに心がわきあがります。

投資家の醜いマネーゲームで、この素晴らしい宝を失ってもいいのでしょうか。加美の豊かな自然が織りなす宝。水、空気、大地の息吹を後世に残すことが私たちの責務と感じます。

愛する家族と故郷、加美の人々のために、私たちは走り続けます。完全撤退までどうか、想いを一人でも多くの人々に伝え、共に走りましょう。「やんだ、いらね、風力発電」

### 現在計画中の風力発電事業

加美町では、次の事業が計画中です。

- 日本風力エネルギー(株) (仮称) 宮城西側風力発電事業【20×30基】
- (株)グリーンパワーインベストメント (仮称) 宮城山形北部I風力発電事業【70×90基】
- (株)グリーンパワーインベストメント (仮称) 宮城山形北部II風力発電事業【5基】

- (株)グリーンパワーインベストメント (仮称) ウィンドファーム
- 八森山【15×20基】

加美町田代から葉菜山、手前がニッ石ダム

### 再エネの自然破壊から地元を守る!!

「加美町の未来を守る会」No6  
2023年12月25日  
共同代表 猪股 弘  
庄司新寿



意見広告

七月二十二日に兵庫県で開催された「全国再エネ問題連絡会」の全国大会へ「加美町の未来を守る会」の共同代表が参加しました。

北海道や熊本、京都など各地代表のトップバッターとして「知れば知るほど、この風力発電がわたんでもないものである事がわかった。みんなの生活を、未来を守るために活動している。地域の人々が知り、加美町が変わることを願い、ここにきた」と、加美の状況を報告しました。

全国各地の住民運動の様子と共に、国の法規制の現状と「増災」や「風車病」を学び、再生可能エネルギーについて広く考える会となりました。

※「増災」・良かれと思った開発や制度が、後に大きな災害を招くこと。行き過ぎた再生可能エネルギー開発による土砂災害など。

※「風車病」・風力発電機から出る低周波によって、地域住民が動機、めまい、頭痛、不眠などを患う症候群のこと。

### JRE宮城加美町 ウィンドファームの現在

漆沢ダム周辺で五月から始まった鉄塔の建設工事は十月中に完了し、十基の風車が並んで建っている。来年四月に稼働予定だが、試験運転としてくるくる回っている。最寄りの民家との距離は、1.4kmで下から見上げるとかなりの迫力だ。

すでに住民から町へ、騒音の指摘があった。今はまだ稼働前の試験運転の段階なのだから、発電のために十基が常に回り続けなければならないのか。また、音だけでなく低周波は大丈夫なのか。目に見えないものだからこそ、徐々に蝕まれていく不安がつかまとう。



令和5年12月 (漆沢地区)

### 宮城県へ要望

署名は二万六千以上

七月五日「加美郡の風力発電を考えるネットワーク」は大規模風力発電事業の白紙撤回に向けて行政指導を求める要望書を、二万六〇三七筆の反対署名簿と共に県へ提出しました。

現在計画中の事業については、問題点が多数あって住民の理解も得られていないことから、県有地・県有林の貸し出しをしないこと、環境影響評価での慎重かつ厳しい態度を求めました。

また、現在建設中の事業については、住民の同意が得られぬまま進められている状況に、厳格な指導と監督を求めました。

### 林野庁長官へ直訴

七月二十七日「加美郡の風力発電を考えるネットワーク」から四名が、全国再エネ問題連絡会と共に、青山豊久林野庁長官へグリーンパワーインベストメント社が計画している、(仮称)宮城山形北部風力発電事業に対して白紙撤回を求める要望書を提出しました。

すでに、風況観測機設置と作業道建設のため一千本の樹木の伐採申請が出されており、水源の森である国有林を貸し出すことなく保全すべきだと訴えました。

林野庁長官からは「水源を守ることに、土砂流出防備は、我々林野庁の一丁目一番地。しっかり見ていきます」との回答を得ました。



令和5年7月5日 宮城県県庁

### 住民訴訟と口頭弁論

三月十四日  
加美町が「合同会社JRE宮城加美」と締結した町有地の地上権設定契約は、権利の放棄について議会の議決を経ずに締結された違法なものであるとして、町民二十三名は加美町監査委員に監査を請求した。

五月九日  
加美町監査委員の回答は、監査要件を満たしていないとして却下であった。

六月六日  
町民十五名は、違法状態を解消するまで町有地の利用停止を求める訴訟を提起した。

八月三日に予定されていた公判期日は、町長の交代を理由に町が延期を要請した。

十一月八日  
仙台地方裁判所で第一回口頭弁論が行われ、原告の代表は契約締結や訴訟に至った経緯や「町民が裁判に訴えるというのは悲しいこと。この訴訟が民主主義が機能する町になる一助になってほしい」という思いなどを陳述した。

同日、記者会見で加美町長は「契約には町に不利益な部分があった」として、合同会社JRE宮城加美に契約内容の見直しを要求したと発表しました。

(十二月二十日  
弁論準備期日(非公開))



令和5年7月27日 青山豊久林野庁長官へ提出



旧宮崎中学校付近から見える JRE宮城加美町ウィンドファーム

# 加美も続いこう!! 各地で風力発電事業撤退!!

問題のある風力発電計画に  
対して、住民が声をあげるこ  
とで事業が撤退したケースが  
いくつもありました。

●(仮称)丸森風力発電事業  
(宮城県丸森町)

令和四年四月にJREから準  
備書が出されたが、「丸森の  
未来を守る会」は、町・県・  
環境省・経産省・JRE本社  
へ要望書を、町議会へは請願  
書を出して、同年九月の町議会  
において「風力発電の住民の  
合意なき建設反対の請願」は  
全会一致で採択。今年五月十  
日、JREは計画中止を正式  
発表しました。

●(仮称)みちのく風力発電  
事業(青森県)

令和三年九月、ユースエナ  
ジーホールディングスから八  
甲田山系周辺の風力発電計画  
で配慮書が出されたが、市民  
団体「Protect Hakkouda」  
八甲田の自然を後世に「」の  
地道な活動もあり、青森市議  
会は事業中止を求める意見書  
を全会一致で可決。今年八月  
には関係六市町の首長全員が  
連名で事業者に白紙撤回を求  
めた。十月十日、事業者は計  
画中止を発表した。

●(仮称)JRE加茂風力  
発電事業(山形県)

令和四年十一月に計画が出さ  
れた鶴岡市加茂地区の風力発  
電について、鶴岡市は今年二  
月に計画中止を申し入れた。  
調査継続を求める署名活動を  
する市民団体がいる一方で、  
「ラムサール湿地近接風車建  
設に反対する会」は八月、一



令和5年9月 風況観測塔

## 加美町に計画中の二社の状況

グリーンパワーインベストメ  
ント社の(仮称)宮城山形北  
部風力発電事業、日本風力エ  
ネルギー社の(仮称)宮城西  
部風力発電事業。どちらも今  
年四月一日から一年間の申請  
で、町有地に風況観測装置を  
新たに増設していることがわ  
かりました。知らないところ  
で着々と準備を進められてい  
るのです。

万筆越えの反対署名を提出。  
計画地の南方にある八森山の  
風力発電施設付近では、絶滅  
危惧種のクマタカの死骸が発  
見された。死因はバードスト  
ライク(風車のブレードに鳥  
が衝突して切断される事故)  
と認定された。  
十月十六日「計画地の上空  
が渡り鳥の飛来コースに当た  
るなど、環境保全の観点から  
総合的に判断した」として、  
JREは事業撤退を表明した。

大崎市と栗原市に計画され  
ている風力発電事業は、多く  
の住民が反対意見を出し、説  
明会で疑問や不安を投げかけ  
たことで、準備書はいったん  
取り下げられ計画がストップ  
しています。

同様に、川崎町、蔵王町、  
丸森町でも、多くの住民が意  
見を提出し、事業者が撤退し  
ました。(全国で昨年十一件  
今年一〇件が中止)

## 水源を守る 「加美町水資源保全条例」

加美町は、平成二十六年に  
「加美町水資源保全条例」を  
制定しました。この条例の前  
文に記されたことは、私たち  
の活動の想いと同じです。こ  
の条例が、将来にわたって守  
られることを切に願います。



宮崎台の原から望む薬菜山

分水嶺として宮城県・山形  
県に広がる耕土と様々な命を  
潤す雄大な船形連峰をはじめ  
とした山々のふもと、私たち  
は古くよりこの豊富な水資源  
が支える豊かな自然の恵みを  
享受しながら、日々の生活を  
営んできました。また、私た  
ちの町は、清流が支える自然  
により、国の天然記念物魚取  
沼の鉄魚をはじめとする多様  
な動植物の故郷となっていま  
す。

(略) この水資源が損なわ  
れることは、私たちの町のみ  
ならず下流域の生活、ひいて  
は生態系をも脅かすことにな  
ります。このような中で、自  
然環境に悪影響を与える負荷  
行為を抑制し、健全な水環境  
を保全することが必要とされ  
ています。

私たちは、先人から受け継  
いできた生命の源ともいえる  
この水資源を守り、将来の世  
代が変わらずに享受し続けら  
れることを目的とした施策を  
総合的に推進させるため、こ  
こにこの条例を制定します。

## 子どもたちの未来のために

仕事帰り、西に向かって車  
を走らせると、雄大な雲の動  
きと薬菜山と夕日が迎えてく  
れる。

この自然の雄大な景色に、  
人の営みの小ささを感じさせ  
られ、癒されてきた。  
それが、いつの間にか建て  
られた人工物によって台無し  
にされてしまった。

人は命を繋ぐことはできて  
も何も無いところから命を生  
み出すことは出来ない。それ  
と同じように、私たちが取り  
巻く自然も、様々な偶然の重  
なりが何万年も繋がって出来  
たもので、私たちがどんなに  
頑張っても、綺麗なお庭は作  
れても多様な生き物を育む森  
を作り上げることは出来ない。  
一度壊された自然は、もと  
には戻せないのだ。

古川から加美町に入って田  
川橋を渡ると薬菜山が見える。  
その横には白く風車が並ぶ。  
残念なことに、私たちが夕日  
の美しさの中に必ず風車を見  
ることになってしまった。

お金が手に入ることが正義  
なのか。そこに生きる動物た  
ちの営みを、植物の命を、す  
ぐ近くで暮らす人たちの人生  
を狂わせて得られるお金で、  
楽しく過ごせるのか…。甚だ  
疑問だ。

加美町の山を破壊する風車  
は必要ない。自然は未来の子  
どもたちのために守らなけれ  
ばならない。

出来ることなら今ある風車  
も撤去してほしいのが本音で  
ある。



## 情報BOX

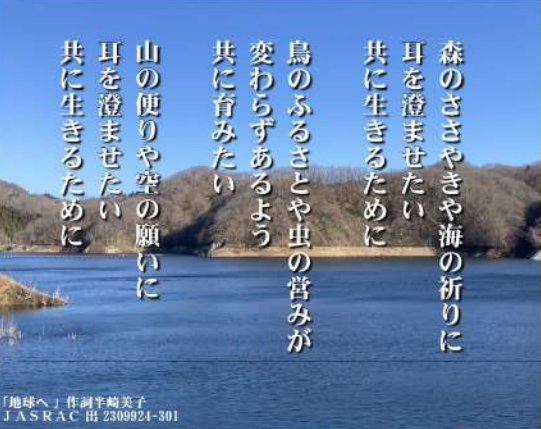
①「守りたいかみのやまとり」  
加美町の未来を守る会  
ホームページ

②「風力発電加美町」  
加美町の未来を守る会  
Facebook

③「加美町の未来を守る会」  
YouTube

④「宮城版全国再エネ問題」  
全国再エネ問題連絡会  
ホームページ

⑤「地球温暖化対策室」  
加美町ホームページ



「地球へ」 作詞宇崎美子  
JASRAC 出 230924-301

## カンパの御礼とお願い

百十九名の皆様からたくさんのお気持ちを頂戴しました。  
私たちの活動にご理解とご賛同いただき、ありがとうございます。  
皆様からいただいたお気持ちを大切に、「かみのやまとり」の印刷費や新聞折込代、シンポジウムの  
会場代などの活動費として活用させていただいております。  
改めて御礼申し上げます。今後ともよろしく願いいた  
します。

振込先  
七十七銀行 中新田支店 601  
普通口座 5021867  
名義：加美町の未来を守る会 代表 猪股弘

発行 『加美町の未来を守る会』  
共同代表 猪股弘・庄司新寿  
事務局 野泉マヤ  
連絡先電話番号 050-3357-6556  
宮城県加美郡加美町宮崎字切込二番9-1  
kamifuryoku@gmail.com

